

に嬉しく感謝致し居る次第であります。

残る人生珍道中

塩津地区 鈴木千卜

「冬が来たぞん、風邪をひいたらあかんヨー」「風邪をひかんようにせりんヨ。」私は、いつも自分で元氣付ける朝のウォーキングで三十分歩きます。これにより一日が始まります。今は、目が見える、耳が聞こえる、手が動く、足が動く、五体満足で幸福です。こんなに幸福でいいのかネ。まあいいか！。計画されている、高齢者レクリエーション大会に向けての毎月一回の練習、これも私自身の励みでもあり、また、一生懸命に汗を流して練習をして居るあの人の、この人、始めはみんな知らない人達だったのに、逢う度ごとに馴染みになり笑顔で挨拶する友達がいっぱい出来た。いいネ。もう何年も前からの知り合いの様に、お互いに心の通じ合う人ばかりでこれぞ老人の友である。老人のレクリエーション大会も無事に終えて来たもや来年に向けて頑張って練習

するのを楽しみに待っています。そしてお友達をいっぱい作ることは大切な事だと思えます。そして、毎週の水曜日、寿楽荘で一日お風呂に入ってカラオケを唄って、皆とお話をして美味しい物を食べて極楽です。人生生き生きなくちゃね。やっぱり人生を楽しく送るには、先ず元氣でなければあかんヨ。私は、七十四歳の「ばあば」ですが、まだまだ元氣ですよ。たこ焼き店に車で通って勤めまーす。学生さん達に「たこ焼きばあば」と呼ばれて居ます。学生さん達が毎日店にやって来て色々な話をしたりして毎日楽しく過ごしています。元氣いっぱいです。何事もよくよししたらあかんヨ。「何とかなる」さで過ごしましょう。旅行も元氣な限り参加します。ゴルフもやっています。ダンスも書道も楽しく習っています。まだまだ三十年は生きたいですよ。やりたい事はいっぱいあります。私の人生バラ色です。じゃあネ。また後程逢いまいかネ。

我が町と長寿会

形原地区 壁谷秀雄

先ず、我が町を紹介させて頂きます。行政面では、形原町第二区町内会又は、二分団と称しており、形原町の南西部に位置して、南は約三百メートルにわたり三河湾に面し、周囲は、約一、四キロメートルです。町内の世帯数は、百九十四戸、人口は七百人にも満たない形原町内では一番小さな規模であります。町民の皆さんは漁師町の面影でしょうか人情は厚く、風の良いところは誇りに思っています。歴史的には、小さいながらも松平千七百石の城下町、武家屋敷の地であり、地名としても現在もその面影を残す「東御屋敷」「西御屋敷」「三浦町」の三地域での構成になっております。中でも、三浦町は、地元の名士であります「故三浦万太郎」氏が私財を投じて、埋立地を造成され多くの町民がその恩恵に浴しています。そんな土地柄に生まれ育って今日に至っています。その間には蒲郡市へ合併時に最後の町内会長、以後さまざま町内の役職を無力量ながらもさせて頂きました。今回、前任者病氣のため急遽長寿会会長を依頼され一瞬ためりました。しかし、七十五年の人生最後のお勤

めと思い、及ばずながらお受けしました。

早いもので右も左も解らぬまま十ヶ月が過ぎ去ってしまいました。特に印象に残っているのは当初長寿会の皆様方にお会いしたとき、何と生き活きとして明るい事かと驚き目を見張る思いでした。

以上申し上げたとおりの沿革のある町内ではありますが、現在は若者と高齢者との間が二極化されているように感じています。此の土地ばかりではなく、まだまだ古い習慣も残っており、やむを得ない気もしますが時の流れでしょうか。

今、十ヶ月を振り返ってみる時、町内の皆さんの長寿会に対する認識度、また、長寿会行事に対する会員の出席率等、さまざまな事項について、いまま少し頑張り二極化の解消や認識度の向上にむけて軌道修正するのも私に与えられた責務ではないでしょうか。

かかる意味合いにおいて、蒲郡市老人クラブ、並びに形原長寿会の皆様方のご支援を頂きながら目的達成の為に努めさせて頂きたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。筆を止めさせて頂きます。